

教育政策室

多様な教育資源をつくり、連携し合うことで、一人ひとりのライフスタイルに合った学びを選択できる環境の構築が目的です。



詳しくは
コチラ！

- SDGs志セミナー
開催 6/23 参加 19名
- SDGsアイデアセミナー第1弾
開催 7/6 参加 16名
- 起業家教育イベント Startup Hub Tokyo
開催 8/24・25 参加：計176名
- SDGsアイデアセミナー第2弾
開催 8/31 参加 24名

「子どもたちが社会課題の解決をする」ことで新時代に必要なたな教育手法「ESD」を広め、新時代の教育の仕組みを創ることを目的に4種類のプログラムを開催（各企業で継続）。文部科学省・環境省の後援を得られたほか、今後は教育企業やその他の専門分野企業、コラボやママ団体との連携なども進めていきます。

事業レポート①

教育政策委員会

新時代の教育法を広める

事業レポート②

千代田区委員会

次世代教育に読書は不可欠

読書の重要性を子育て世代から広め、親子での読書習慣化の一步を踏み出してもらうことを目的に、読書の楽しさや価値を実感し、読書の有意義性を改めて伝える講演会を実施。

区内の家庭・学校・地域を巻き込んで「次世代を生き抜く人材」の



詳しくは
コチラ！



- AIとの共存社会に向けて
～未来を創る親子読書～
開催 7/14 参加 257名

育成に読書が寄与することを伝えることで、行動の一步につなげることを目指しました。
神保町を中心に地域の方々に協力いただき、関係性の構築ができたほか、神田一橋中学校の生徒も登壇してもらうなど、学校も巻き込んだ事業構築ができたことで、事業前後のJCI・地域・学校それぞれの活動に対して相乗効果を生む機会を創出できました。

事業レポート③

世田谷区委員会

コミュニケーション力を 幼い頃から育成

社会を生き抜くために必要な非認知能力のひとつである「コミュニケーション能力」は総務省の調査結果の中でもとくに重要性が高いとされています。世田谷区委員会ではこの点に着目し、家庭だけではなく地域全体でコミュニケーションを図る風土や仕組みを作り、子ども達のコミュニケーション能力を向上することを目的とした事業を実施しました。

事業当日は「NPO法人親子コミュニケーションラボ」代表の天野ひかり氏による講演や、子ども向けブースの設置などを通して、保護者以外の初めて会う大人とコミュニケーションを取る「大人との関わり方」を学ぶ機会を創出しました。事業を通じ、多くの参加者に今回の仕組み作りの重要性を理解してもらうことができました。

この事業は、幼児期の子ども達が社会を支える30年後の社会を作るための事業と認識し、この取り組みが世田谷から日本全国

事業レポート④

荒川区委員会

学びの場を増やす
イベント開催

『体育・食育・徳育』を通じて地域と家庭を繋げる学びの機会を増やすことを目的とした事業の一環として、親子間のコミュニケーションツール「学習ブック」の配布を目指し、多くの参加者を集めるためにフェスティバル形式で実施。多くの一般動員を得られ、学習ブックを多数配布することができたほか、各小学校が



らの問い合わせもありました。今後は各小学校の個別訪問を行い事業の理解促進は測ると同時に、学習ブックの使い方や有用性について説明を行っていくことで、普及を推進します。

に、学習ブックの使い方や有用性について説明を行っていくことで、普及を推進します。

詳しくは
コチラ！



●あらかわアカデミー
&フェスティバル
開催 8/11 参加 2100名

事業レポート⑤

板橋区委員会

学校への負担の分散化

家庭・地域での教育力低下を背景に、社会通念の育成などを含めて過度に学校教育に期待されているうえ、本来の職責とは乖離した教師の多忙な現状を打開し、家庭や地域へ教育負担の分散を啓蒙する事業を2018年より実施。

ユネスコの「教師の日」を板橋区で広める活動から2019年には23区へ広めるべく事業を拡大、事業

終了後に継続する別団体への事業移管も行いました。

10月5日の「教師の日」に向け7月12日には「先生ありがとうフォーラム」を開催、同時に同月いっぱい板橋区役所6階にて「ありがとう展示会」を開催しました。



詳しくは
コチラ！

●ありがとうフォーラム 他
開催 7/12 参加 154名
●ありがとう展示会
開催 7/1～31 参加 200名



詳しくは
コチラ！



●地域で育むこころの森
～世田谷こころの森プロジェクト～
開催 8/10 参加 91名



に広まっていくことにより、30年後の日本が「明るい豊かな社会」になると考えて引き続き取り組んでいきます。